

### 環境報告書をご存じですか？

環境報告書は、事業者が環境負荷及び配慮等の取組状況について公表するものです。本学では、環境配慮促進法等に基づき、2006年度から毎年作成しています。

詳しくは▶ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/intro/kankyo/index.html>

本紙「HU-eco」は、環境報告書の一部を紹介しつつ、大学としての環境配慮活動へのご理解とご協力を、構成員のみなさまにお願いするための広報誌です。

### 環境報告書2015版の内容 (2014年度の実績報告)

- 学長ステートメント：学長インタビュー
- 広島大学基本理念・環境基本理念・行動方針
- 大学概要
- 環境管理体制
- 2014年度の目標と実績
- ◇本学における環境教育（毎年、その一部を紹介しています）  
 教養教育／法学部・経済学部・社会科学部研究科／医学部・歯学部・薬学部・医歯薬保健学研究科／原爆放射線医学研究科
- ◇環境研究（毎年、その一部を紹介しています）
- ◇社会貢献・国際貢献・学生活動（毎年、その一部を紹介しています）
- ◇キャンパスの自然環境
- ◇環境負荷削減の取組と実績
- ◇環境リスク低減の取組と実績
- ◇環境に関する規制等の遵守状況
- ◇環境報告ガイドライン（2012）との対照表
- 第三者コメント・環境活動評価委員会コメント
- キャンパスマップ、編集後記



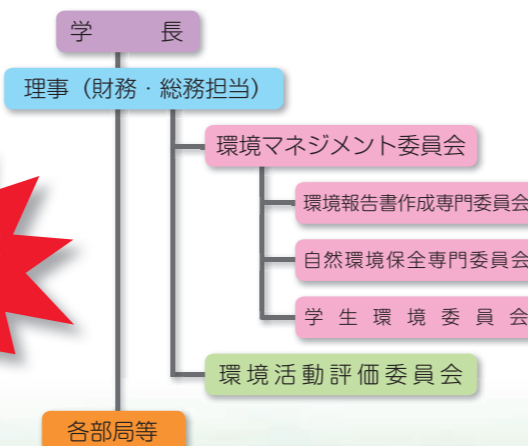
職員・学生のボランティアによる花壇緑化作業

### 2015年度の環境目標

- ◆環境教育・研究の推進
  - \* 環境・安全教育の全学実施
  - \* 教養教育、専門教育等を通じた環境意識の醸成
  - \* 環境研究の連携強化と促進
- ◆社会貢献の推進
  - \* 地域社会・市民と連携した環境保全活動の推進
  - \* 地域・国際社会の環境問題解決に向けた取組の推進
  - \* 学校教育から生涯学習までの地域環境教育への貢献
- ◆自然環境の保全
  - \* キャンパス内の生物相の把握
  - \* キャンパス内の生物多様性を守る生態系管理体制の構築
  - \* キャンパスの自然環境の管理・保全の実施
- ◆資源の有効利用の推進
  - 中期目標（2016年度から6年間）の作成に向けて、エネルギーを含めた資源の利用・再利用の実態把握と課題の抽出を行う。
  - \* エネルギー使用原単位の削減
    - 2014年度比1%削減
    - 2015年度までに2013年度比2%削減
  - \* 水使用量の削減と資源化の促進
    - 水使用量の削減（2012年度実績より減）
    - 水再利用の促進
  - \* 廃棄物の削減と資源化の推進
    - 資源化促進による可燃ごみ排出量の削減（2012年度実績より減）
  - \* コピー用紙購入量の削減
    - 2012年度実績より減

ここがポイント!!  
2014年度に未達成の課題

### 本学の環境管理体制



### 2014年度の環境目標と実績「自然環境の保全」

環境目標	主な活動実績
キャンパス内の生物相の把握	・裏山の生態系をみる授業の実施 ・東広島キャンパスの蝶類相の観察・調査を継続的に実施、72種を確認
キャンパス内の生物多様性を守る生態系管理体制の構築	・自然環境保全専門委員会において、課題検討を実施
キャンパスの自然環境の管理・保全の実施	・植物管理室によるキャンパス内の植生管理を実施 ・樹木の水やり、剪定、害虫駆除を実施 ・学生教職員が一斉清掃活動を実施



フィールドナビによるがらがら山自然散策

### 東広島キャンパスの環境管理：ゾーニングと注目ポイント

東広島キャンパスは約250haの広大な敷地の中に、山林、ため池、溪流など多様な環境を含んでおり、そこには多様な動植物が生息しています。大学に必要な機能・利便性を確保しながら豊かな自然と共生していくため、本学では、「自然区」「半自然区」「管理区」の利用目的と環境特性に応じたゾーニング管理を実施しています。

キャンパス内には、自然を観察するための発見の小径を整備するなど、キャンパス全体をまるごと博物館とするような利用をしています。



### 教養ゼミにおける「発見の小径」

総合博物館では、発見の小径の活用の一環として、新入生が受講する「教養ゼミ」において、発見の小径の利用（解説付）プログラムを技術センターの協力のもと実施しています。

このプログラムは、アンケートによると新入生からの評価も高く、毎年多くのゼミに利用していただいています。本プログラムを通じて、新入生が自然・環境・植物等に関心を持つきっかけとなることを期待しています。



教養ゼミの様子

### トピックス

#### キャンパスの樹木

1950年、初代学長森戸辰男先生は、廃墟になった大学の復興と建設のためにいくつか目標を掲げられましたが、そのなかの一つに平和で国際性豊かな大学緑化がありました。世界の主要な大学に送られた手紙は大きな反響を呼び、多数の苗木類が送られてきました。理学研究科植物管理室の樹木園にはこれらの樹木の一部が植栽されており、今でも平和を見守っています。



南イリノイ大学（アメリカ）より寄贈されたアメリカハナズオウ（マメ科）

# 資源の有効活用を進めよう

※詳しくは、環境報告書の p.26~31 参照

# 学生環境委員会・サポーターとして活動しませんか

※詳しくは、環境報告書の p.21 参照

## 2014年度の環境目標と実績「資源の有効利用」

項目	2014年度目標値	2014年度活動実績
可燃ごみ 廃棄物の削減と資源化の推進	資源化促進による可燃ごみ排出量の削減	<b>4.2%増</b> (2012年度比)
	2012年度実績より減	
紙 コピー用紙購入量の削減	2012年度実績より減	<b>1.2%減</b> (2012年度比)
エネルギー エネルギー使用原単位※の削減	2013年度比 1%削減	<b>5.06%減</b> (2013年度比)
	2015年度までに 2%削減 (2013年度・・・基準年)	<b>5.06%減</b> (2013年度比)
水 水使用量の削減	2012年度実績より削減	<b>1.9%増</b> (2012年度比)
	資源化の促進 水再利用の促進	<b>14.6%</b> (対上水使用量比)

※エネルギー使用原単位：各エネルギー（電気・ガス・重油）消費量を原油換算し、対象建物の延べ面積で除した値



混ぜればゴミ、  
分ければ資源

研究室や事務室に分別 BOX  
を設置し、分別し易い環境  
を作りましょう!!

分別すればリサイクル可能な紙（封筒類、紙袋、包装紙、紙箱など）が、**可燃ごみ**として出されています。可燃ごみを減らし、資源を有効活用するためには、**ごみ分別の徹底**が重要です。これらの紙は**雑誌類に分別し**、資源化しましょう。



これらはすべて雑誌類にまとめて搬出

皆様のご理解と  
ご協力をお願いします

## 学生環境委員会とは

環境マネジメント委員会の下、自然環境保全専門委員会と連携を図りながら活動する学生のみで構成された委員会です。広島大学の環境配慮活動に、学生にも主体的に参画してもらうことを目的として、2014年10月に設置しました。広島大学の「環境目標」（環境教育・社会貢献の推進・自然環境の保護・省エネ推進）を達成するために次の活動を行っています。

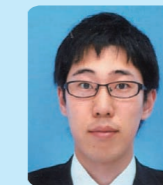
1. 環境目標に沿った活動の年度計画の策定
2. 自然環境保全専門委員会と連携した活動
3. 広島大学における環境活動の普及啓発、情報発信
4. 活動を通じた地域貢献



## 学生環境サポーター

2013年に設立された、広島大学における環境活動の企画運営に参加している**学生ボランティア団体**です。現在、学部生11名と院生12名が登録し、学生環境委員会で決定された活動について、委員と共に活動を行っています。その他にも、大学生・大学・地域の方などに向けた企画を考えたり、大学構内の生態調査、環境啓発ポスターの作成などを行っています。一緒に活動してくれるメンバーを募集しています。興味がある方は、下記 HP をご覧ください。

\*広島大学 HP > 大学案内 > 環境への取り組み > 学生環境サポーター  
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/intro/kankyo/kankyosupporter/>  
 \*もみじ > 学生生活のサポート > 学生環境サポーター  
<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/life/kankyosupporter.html>



教育学研究科博士課程前期 2年  
井野 貴将

今後も、これまでの活動に囚われず様々な活動を行っていきたく思います。大学構成員として、参加者として、そして一緒に活動していく学生環境サポーターとして大学の環境活動を盛り上げませんか。

## <学生環境委員会・サポーターの活動紹介>

### — 環境教育 —

学童保育の子どもたちに対して、水の浄化装置をペットボトルで作る工作教室を行い、装置作成を通して泥水がきれいになる不思議を感じてもらいました。また、昨秋の大学祭では、初めて出店し、浄化装置作りを子どもだけでなく大学生など幅広い参加者に興味を持って理解していただけるように改良したり、学内で採取した竹やドングリで竹トンボや置物を作ってもらったりして、水資源、学内自然について考えるきっかけを提供しました。



水の浄化装置作り

### — 自然環境の保護 —

これまで継続的に行っていた学内の植生調査に加え、西日本で5年に1度行われるタンポポ調査にサンプルを提供するため学内外のタンポポ採取も行いました。また、東広島キャンパス内には、整備されて保たれているピオトープや里山環境が存在しています。これらを学生にもっと知ってもらい自然環境の維持・キャンパス内の珍しい生態系に興味を持ってもらえるよう2014年秋から「キャンパスツアー」を開催しています。



キャンパスツアーの様子

### — 省エネ推進とキャンパスの緑化活動 —

講義室等のエアコンの温度設定についてのポスターの作成を行い学生や教職員に意識付けを行うとともに、昨年度末からは学内の緑地化にも力を入れています。例えば、中央図書館前の藤棚をきれいに整備し、花壇の部分に花を植えるなどし、涼めて、気持ちのいい空間を作りました。また、依頼に応じて、学部棟の花壇のレイアウトを季節や植物を考え提案しました。



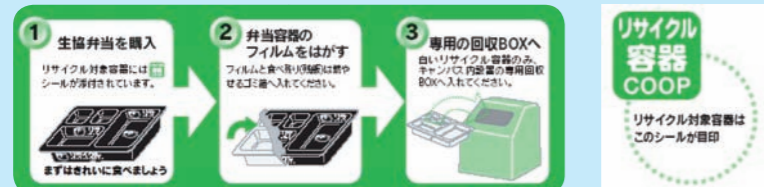
環境啓発ポスターの作成

### — 社会貢献の推進 —

東広島市主催「きれいなまちづくりキャンペーン」などの地域が開催する清掃活動に参加し、広島大学の環境に対する姿勢をアピールしたり、地域住民の方と一緒に活動ができるように交流を深めたりしています。

## トピックス 広大生協 弁当容器のリサイクル「リ・リパック」

「リ・リパック」とは、再生率100%の弁当容器です。広大生協では、各生協店舗で販売されている生協食堂製の弁当容器に「リ・リパック」を使用しています。回収された容器は、ペレットに加工され、もう一度同じ弁当容器として再生されます。広大生協では、回収ボックスを設置し、回収率のアップに取り組んでいます。



※回収ボックス設置場所 総科西・東講義棟北1, 西2, 北2ショップ, 会館喫茶